

第 36 回薬物活性シンポジウム・第 12 回日本ヒスタミン学会

プログラム

10 月 23 日 (木)

13 : 05 開会の辞 福井裕行 (徳島大)、赤木正明 (徳島文理大)

一般講演 1 (13 : 15-15 : 15)

座長 : 赤木正明 (徳島文理大・薬・薬理学)

演題 1 13 : 15 IL-4 受容体刺激によるヒスタミン H₁ 受容体レベルの増加
○堀尾 修平、福井 裕行
(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部薬学系分子薬物学)

演題 2 13 : 30 鼻過敏症モデルラットにおける緑茶成分のアレルギー疾患関連遺伝子発現抑制作用
○松下知世¹、水口博之¹、新納 仁²、提坂裕子²、福井裕行¹
(¹徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部分子薬物、²伊藤園中央研究所)

演題 3 13 : 45 ヒスタミン受容体の胆汁酸代謝における役割
○笹栗靖之
(産業医科大・第二病理学教室)

演題 4 14 : 00 ヒスタミン受容体のコレステロール代謝における役割
○笹栗靖之
(産業医科大・第二病理学教室)

座長 : 大和谷 厚 (大阪大院・医・保健・医用物理工学)

演題 5 14 : 15 アレルギー性鼻炎症状に対するヒスタミン H₄ 受容体の影響
○高橋佑次、香川陽人、亀井千晃
(岡山大院・医歯薬総合・薬効解析)

演題 6 14 : 30 curcumin 誘導体、benzylidene cyclopentanone によるマスト細胞からのヒスタミン遊離抑制作用の検討
○Agung Endro Nugroho¹、Sardjiman²、Zullies Ikawati³、前山一隆¹
(¹愛媛大・医・統合生体情報学・薬理学、Gadjah Mada 大・薬・²製剤化学、³臨床薬学)

座長 : 福石信之 (徳島文理大薬学部薬理学)

演題 7 14 : 45 AGE-2 と AGE-3 誘導性のヒト単球の活性化に対するヒスタミンの効果
○高橋英夫、森 秀治*、劉 克約、和氣秀徳、西堀正洋
(岡山大院・医歯薬総合・薬理学、*就実大学・薬学部)

演題 8 15 : 00 ヒスタミン H₁ 受容体欠損マウスにおける食塩嗜好の亢進
○石塚智子^{1,2}, 寺内香澄², 大浦清¹, 大和谷厚²
(¹大阪歯科大・薬理, ²大阪大院・医・保健・医用物理工学)

休憩 15 : 15-15 : 25

招待講演 (15 : 25-16 : 25)

座長 : 水口博行

『Exploring Anti Allergic Potential from Ayurvedic Herbs』

Dr. Pulok K. Mukherjee, Satheesh Kumar N., Venkatesh P.

(School of Natural Product Studies Jadavpur University, Kolkata 700032, India)

特別講演 (16 : 30-17 : 30)

座長 : 福井裕行

『シェーグレン症候群発症の分子メカニズム』

林 良夫

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部口腔分子病態学)

10月24日(金)

シンポジウム 1 (9 : 00~11 : 45)

テーマ **『アレルギー疾患克服のための新しい治療戦略』**

座長 : 前山一隆 (愛媛大学大学院医学系研究科統合生体情報学薬理学)

福井裕行 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)

S1-0 9 : 00 **イントロダクション**

S1-1 9 : 05 **アレルギー性皮膚疾患のエビデンスに基づく治療戦略**

○秀 道広

(広島大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚科学)

S1-2 9 : 35 **気管支喘息治療における抗アレルギー薬**

○山内広平¹, 小笠原正人², 鹿内俊樹¹, 前山一隆², 井上洋西¹

(¹岩手医科大学医学部内科学講座呼吸器アレルギー膠原病内科分野

²愛媛大学医学部薬理学)

- S1-3 10:05 スギ花粉症と抗 IgE 抗体療法
○荻野 敏
(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
- S1-4 10:35 薬食同源の視点から薬用食品に抗アレルギー成分を探る
○吉川雅之
(京都薬科大学創薬科学系生薬学)
- S1-5 11:05 マスト細胞のサブタイプ別機能解析から気管支喘息治療を考
える
○劉 爽、前山一隆
(愛媛大学大学院医学系研究科統合生体情報学薬理学)
- S1-6 11:35 総括

休憩 11:45-12:50

シンポジウム 2 (12:50-15:35)

テーマ 『RNA 干渉を用いた病態メカニズムの解明と治療への応用』

座長：服部裕一(富山大学大学院)、樋口宗史(新潟大学大学院)

- S2-0 12:50 イントロダクション
- S2-1 12:55 がん治療へ、siRNA 抗癌剤の開発
○古市泰宏
(ジーンケア研究所)
- S2-2 13:25 RNAi によるがんの予防・診断・治療
○落谷孝広
(国立がんセンター研究所・がん転移研究室)
- S2-3 13:55 siRNA による中枢摂食制御での NPY 機構の同定
○樋口宗史、椎谷友博、村瀬真一
(新潟大学大学院医歯学総合研究科・分子細胞医学・薬理学分野)
- S2-4 14:25 siRNA を用いた老化関連疾患の病態解明～更年期、糖尿病を
中心として～
○林 登志雄
(名古屋大学医学部老年科)
- S2-5 14:55 敗血症病態に対する遺伝子治療～siRNA を用いたアポトーシ
ス抑制の効用～
○松田直之¹、服部裕一²
(京都大学大学院医学研究科 初期診療・救急医学分野¹、
富山大学大学院医学薬学研究部 分子医科薬理学講座²)
- S2-6 15:25 総括

一般講演 2 (15:35-17:05)

座長：櫻田 忍 (東北薬科大学 機能形態学教室)

演題9 15:35 **ラット前頭前野と視床下部神経ヒスタミン機能の連関**
○千葉政一、正木孝幸、後藤孔郎、加島尋、藤原貫爲、葛城功、
加隈哲也、吉松博信
(大分大学医学部総合内科学第一講座)

演題10 15:50 **生体警告系としての疼痛による視床下部ヒスタミン遊離の上昇**
○室谷知孝¹、石塚智子²、山本浩一¹、浅野景子¹、阪田亘平¹、
本城由衣¹、大和谷厚¹
(¹大阪大院・医・保健・医用物理工学、²大阪歯科大・薬理)

座長：谷内一彦 (東北大・院・医・機能薬理)

演題11 16:05 **ヒスタミンによる脳梗塞後の脳浮腫軽減**
○足立 尚登、入澤 友美、元木 敦子、平賀 徳人、長櫓 巧、
劉 克約、西堀 正洋
(馬淵診療所、愛媛大学医学部麻酔蘇生、岡山大学医学部薬理)

演題12 16:20 **ノシセプチン代謝物ノシセプチン(12-17)の脊髄くも膜下腔内投与誘発性疼痛関連行動発現機構**
○加藤 慧、溝口 広一、渡辺 千寿子、米澤 章彦、櫻田 忍
(東北薬科大学 機能形態学教室)

座長：小野寺憲治 (横浜薬科大薬物治療学)

演題13 16:35 **ヒスタミンH₃受容体を介するノルアドレナリントランスポーターの機能抑制について**
○十川紀夫¹、十川千春¹、大山和美²、北山滋雄¹
(¹岡山大・院・医歯薬総合・歯科薬理、²岡山大・歯・RI実験施設)

演題14 16:50 **規制薬物に誘発される異常行動とヒスタミン受容体**
○瀧野奈緒子¹⁾、櫻井映子¹⁾、張冬穎¹⁾、岩村樹憲²⁾、谷内一彦¹⁾
(¹⁾東北大・院・医・機能薬理、²⁾松山大・薬・医薬品化学)

休憩 17:05-17:10

一般講演 3 (17:10-18:10)

座長：西堀正洋 (岡山大院・医歯薬総合・薬理学)

演題15 17:10 **明期と暗期の低酸素換気応答とヒスタミンH1受容体の寄与**
○岩瀬みち子、大嶋康義、泉崎雅彦、石黒 卓、金丸みつ子、
本間生夫

(昭和大学・医学部・第二生理)

演題 16 17:25 **紫外線誘発光毒性反応に対するサンスクリーン剤の保護効果**

○見尾光庸¹、小野恵理香¹、樽本昌典¹、福井裕行²

(¹就実大学薬学部薬効解析学分野、²徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部分子薬物学分野)

座長：菱沼 滋 (明治薬科大学・薬効学)

演題 17 17:40 **ラット静脈平滑筋のヒスタミン誘導性弛緩メカニズム**

○坂井 康祐、佐野 峻子、樋口 宗史

(新潟大学大学院 医歯学総合研究科(医学部)・薬理学分野)

演題18 17:55 **α -methylhistamine-induced vasodilation and vasoconstriction in the mesenteric resistance artery of the rat**

○Pengyuan Sun, Xin Jin, Toshihiro Koyama and Hiromu Kawasaki*

(岡山大学大学院医歯薬総合研究科創薬生命科学専攻 臨床薬学)

懇親会 19:00-21:00

ホテルグランドパレス徳島

10月25日(土)

シンポジウム3 (9:00-11:45)

テーマ『アレルギー性炎症と関連因子』

座長：大内 和雄 (安田女子大学薬学部)、
赤木 正明 (徳島文理大学薬学部)

S3-0 9:00 **イントロダクション**

S3-1 9:05 **HeLa 細胞におけるヒスタミン H₁ 受容体遺伝子発現調節**

○水口博之、福井裕行

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部分子薬物学分野)

S3-2 9:35 **アレルギー性皮膚炎の増悪化機構**

○平澤典保¹、大澤雄亮¹、石原研治¹、瀬山敏雄²、洪章子²、
大内和雄²

(¹ 東北大学大学院薬学研究科、² 安田女子大学薬学部)

S3-3 10:05 **マウスにおけるニッケルアレルギー：自然免疫系の関与**

○遠藤 康男

(東北大学歯学研究科・口腔分子制御)

S3-4 10:35 **アレルギー性鼻過敏症の発症におけるタキキニンの関与につ**

いて

○奈邊 健, 河野茂勝

(京都薬科大学病態薬科学系・薬理学分野)

S3-5 11:05 **アトピー型喘息発症における環境因子の影響**

○田中宏幸、山下弘高、稲垣直樹、永井博弌

(岐阜薬科大学 機能分子学大講座 薬理学研究室)

S3-6 11:35 **総括**

11:45-12:00 閉会挨拶、次回会長、当番幹事挨拶